

令和6年度 学校自己評価システムシート (県立大宮商業高等学校 定時制課程)

目指す学校像	地域とともに未来を切り拓く、心豊かでたくましい生徒を育成する
--------	--------------------------------

重点目標	1 授業改善により、生徒の主体性を育み、学習習慣の確立と学力を定着させる 2 キャリア教育の充実により、生徒の進路意識を高め、進路実現を支援する 3 地域・保護者・外部団体との連携強化と教育活動の効果的な情報発信により、愛され信頼される学校をつくる 4 コミュニケーション能力の育成により、チャレンジ精神に溢れたたくましい人財をつくる
------	--

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	3名
	生徒	6名
	事務局(教職員)	12名

学 校 自 己 評 価					年 度 評 価 (2 月 4 日 現 在)		
年 度 目 標			年 度 評 価 (2 月 4 日 現 在)				
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	
1	<p><現状> ○少人数のため、対話的な授業展開により、学びやすい環境にある。 ○主体的に学ぶことができる生徒は少ない。 <課題> ○「主体的・対話的で深い学び」となる授業実践の工夫が必要である。 ○義務教育段階で不登校を経験している生徒が多いため、基礎学力の定着、検定試験合格率向上の具体策が必要である。 ○生徒がより意欲的に学ぶためにICTの活用などより一層取り組む必要がある。</p>	<p>○生徒に「主体的に学ぶ方法」を学習させ、基礎学力を定着させる。 ○各種検定試験への参加者数及び合格者数を増加させる。</p>	<p>①ICTの活用や教材等の工夫を行い、生徒の学習への興味・関心を高める。 ②教員のICTに係る研修を実施する。 ③生徒が主体的に学ぶよう、生徒の発表や、グループワークを実施する。 ①実施される検定一覧を示し、各種検定の積極的な受験を促す。 ②検定に向けた補習を実施する。</p>	<p>①欠点保有率が減少したか。 ②ICTに係る教員研修を実施したか。 ③授業での生徒の発表やグループ学習が増えたか。 ①検定の受験者数が増加したか。 ②検定に向けて補習を実施したか。</p>	<p>①2学期末での欠点保有率は減少した。令和5年度は27% (15/56)、令和6年度は19% (8/43)であった。 ②Googleclassroom、生成AI等の教員研修を実施しICT活用の意識が高まった。 ③各授業、全学年でのLHRでグループ学習、グループでの意見交換が行われた。また、各授業とも生徒が発表する機会を積極的に取り入れている。 ①プレゼンテーション検定など新たな検定も実施し、受験者も増加した。 ②検定に向け補習を実施した。</p>	A	<p>①授業満足度については、令和5年度と比較してやや下がってしまったが90%以上の満足度を保っている。(令和5年度授業満足度指数は96.7%、令和6年度授業満足度指数90.1%)今年度以上に生徒が主体的に授業に参加できる体制を整えることが課題であると考える。 ②③引き続きICTの活用、生徒が主体的に取り組めるようにしていく。 ①②新たな検定を実施するなど検定への意識も上がった。次年度も資格取得を目指していきたい。</p>
2	<p><現状> ○昨年度は進路活動を通して、ほとんどの生徒進路実現ができた。本年度も継続して進路実現を目指す。 ○外部の人的資源を利用し、充実した進路行事を行っている。 <課題> ○求人票の業務に負担がかかるので効果的方法を検討する必要がある。 ○生徒の希望職種と求人とのミスマッチが発生している。</p>	<p>○自主的、自発的に進路活動を行い、生徒の進路実現を図る。 ○求人票の管理ツールを導入する。 ○生徒の希望職種と求人とのミスマッチを減少する。</p>	<p>①入学してから4年間を見通した進路指導を行う。また、外部講師等を活用し自主的、主体的な進路活動を行えるようにする。 ①求人票をPDF化し、タブレット等で見られるようにする。 ①外部人材を活用し、企業研究を取り入れ、ミスマッチを減少させる。</p>	<p>①生徒の進路実現がはかれたか。 ①求人票の管理ツールを導入し業務の効率化が図れたか。 ①就職の際のミスマッチが減少したか。</p>	<p>①希望する生徒が進路実現に向け、学年・進路指導部で指導を行い進路実現が100%となった。 ①求人票をタブレット等でみられるようにし、業務の効率化、生徒の利便性が図られた。 ①令和5年度卒業生の就職者は離職者がおらず離職率は下がっている。他校との合同学習、企業担当者の講演など学校外部の資源を活用し進路意識を高めることができた。</p>	A	<p>①次年度も引き続き進路実現を目指していきたい。 ②生徒参加型の進路行事を充実させ進路意識を早期から醸成する。 ①引き続き、早期離職の低減を目指す取り組み行っていく。また、進学者対象のガイダンス等にも取り組んでいきたい。</p>
3	<p><現状> ○ホームページのアクセス数が伸びている。 ○学校見学の問い合わせや参加者数の増減はない。 <課題> ○本校志願者数を確保する必要がある。 ○新型コロナウイルス感染症が5類に移行以降、行事の開催、保護者や地域との連携を強固にする必要がある。</p>	<p>○ホームページの更新頻度を増やし、アクセス数を更に伸ばす。 ○志願者数を増加させる。 ○保護者や地域と連携できる機会を増やす。</p>	<p>①学校行事等を掲載するなど定期的にHPを更新する。 ①学校案内を積極的に配布し、本校のPRに努める。 ①学校行事や授業参観の機会を保護者に積極的に周知し、保護者の来校を促進する。</p>	<p>①HPのアクセス数が増加したか。 ①学校見学者が増加したか。 ①保護者の来校機会が学期1回以上設定したか。</p>	<p>①更新数、アクセス数ともに増加した。(更新数 約80件 アクセス数 3734回) ①中学生の学校見学が増加した。また、体育祭、生徒会行事、講演会を通して年間4回の保護者来校機会の確保が行えた。体育祭には多くの保護者が参加した。 ①街頭募金等の活動を通して見沼区役所と連携を取り活動が行えた。ボランティア参加人数も増加した。</p>	A	<p>①ホームページ更新担当を輪番で決め、安定した更新が行えた。今後の課題としては、記事自体の魅力向上のための工夫などをしていきたい。 ①体育祭では多くの保護者が訪れた。講演会等での来校機会を視野に入れ、引き続き1回でも多くの来校機会を作れるようにしていく。 ①区役所との連携を引き続き行い、生徒が参加可能なボランティア活動の情報を得ていく。</p>
4	<p><現状> ○生徒は、概ね落ち着いた学校生活を送っている。 ○立哨指導、巡回指導で生徒とのコミュニケーションを深めている。 ○長期欠席者は少ない。 <課題> ○生徒が抱える悩みが多様化しており、生徒が相談しやすい体制を確立する必要がある。</p>	<p>○生徒への積極的な声かけや信頼関係づくりを行う。 ○SC等や外部機関と連携し、登校しやすい環境づくりを行う。 ○悩みを抱えている生徒の情報を共有する。</p>	<p>①立哨指導、巡回指導を定期的に行い、生徒とのコミュニケーションを確保する。 ①SC、SSW、学習サポーターや外部機関と連携し、生徒が学校に來られる環境づくりを行う。 ①悩みを抱えている生徒の情報を企画委員会、職員会議で共有する。</p>	<p>①定期的に立哨指導、巡回指導を行ったか。 ①SC、SSW、学習サポーターを活用したか。外部機関と連携が取れたか。 ①職員会議等で悩みを抱えている生徒の共有できたか。</p>	<p>①登校時の立哨指導・定期的な巡回指導を行い、生徒とコミュニケーションをとった。また、生活規範の意識づけを行った。 長期欠席者及び転学・退学者数は共に昨年度より減少した。 ①SC、SSW参加の教育相談委員会を学期1回実施した。相談数も昨年度末よりもSCは2学期までで同数の27件、SSWは19件増となり、効果的に活用できた。 ①早期段階での生徒情報の共有が行えた。必要に応じて生徒への配慮・対応の確認が行えた。</p>	A	<p>①生徒と丁寧なコミュニケーションをとることにより、生徒の様子により理解でき指導につながった。次年度も立哨指導・巡回指導を継続して実施したい。 ①SC、SSW、学習サポーターと連携することができ、生徒へきめ細かな対応ができた。次年度もSC、SSW、学習サポーターなどの連携を行いたい。 ①企画委員会、職員会議で適切に生徒情報が共有され学校全体の指導につながった。次年度も情報共有を積極的に行いきめ細かな生徒指導を実践していきたい。</p>

学 校 関 係 者 評 価	
実施日	令和7年2月6日
学校関係者からの意見・要望・評価等	
<p>・授業改善につながるITの活用が進み、問題演習などに活用されるなど実践が見られた。引き続き授業改善に取り組んでほしい。 ・検定試験の取組では、生徒がよく努力していた。また、教員も指導援助していた。今後も資格取得には積極的に取り組んでほしい。また、検定結果なども公表してほしい。 ・授業では、生徒が発表したり、グループで意見を交換する授業などアクティブラーニングが進んでいることがわかった。 ・少人数の授業で、教員からの一方的な授業ではなく、生徒の様子を見ながら授業が進められている。生徒が発言や発表するなど授業に積極的に参加していた。</p> <p>・キャリア教育にしっかり取り組んでいる。外部講師や進路説明会、「進路の手引き」の活用など情報を集め活用し、高い就職内定率としたことがうかがえる。 ・就職については、学んだスキル等を生かせる業種・職種についていることがうかがえる。引き続き丁寧な指導に取り組んでほしい。 ・進路実現に向けて、生徒と学校とも真剣に取り組んでいる。 ・企業担当者などの外部講師を招くなど、外部の人的資源を活用していることは生徒の進路実現に向けて素晴らしい取組である。</p> <p>・生徒が自治会や地域のイベント等に参加することにより、大宮商業の特徴が伝わるよう情報発信をしていることがわかった。 ・自治会主催の夏の盆踊り大会に定時制の生徒・教員が参加してくれた。地域との交流になった。また、お祭りの運営も助力してくれた。今後も生徒に参加していただき交流していきたい。 ・コミュニティセンターなどと協同で事業を検討するなど、今後の一層の交流を進めていければよいと思う。 ・HPの更新など今後も新たな情報を発信し学校の様子を伝えてほしい。 ・保護者が参加できる行事を引き続き行ってほしい。</p> <p>・生徒の発言が大変しっかりしていた。生徒が学校生活を考え、充実した学校生活に取り組んでいたことがうかがえる。 ・普段より、登校指導や健康観察など生徒の様子を観察し指導していることがわかった。 ・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど活用し、生徒への様々なケアをしていることを知った。引き続き生徒のケアをしっかり行ってほしい。 ・生徒の情報を共有し引き続き丁寧な指導を行ってほしい。</p>	